

公園



003 Parks

洲原公園

クライアント：
愛知県刈谷市
所在地：愛知県刈谷市
竣工：2005年2月
面積：16ha

洲原池を中心にテニスコートなど多彩な施設を備える市民のための総合公園。その一角に子どもたちが思いきり遊べる遊具を設置することになり、利用者である小学生対象のアンケートで選出されたのが、コンパンのギャラクシーシリーズ。モノトーンのアーティスティックな造形と運動工学に裏づけされたあそびの多様さが特長のギャラクシーは、公園に新たな魅力を付加した。



004 Parks

豊洲3丁目公園

クライアント：東京都江東区
所在地：東京都江東区
竣工：2006年4月
面積：1ha

大規模再開発によって生まれ変わった地域イメージに合わせ、「公園も都会的で斬新なものに」という施主の要望を受け、コンパン製品の中でも特にデザイン性の高いギャラクシーシリーズ(右)を中心に構成した。同シリーズは近未来的なモノトーンの外観と運動工学に基づく体力増強に最適な機能が特長。伸び伸びと身体を動かして遊ぶ子どもの姿も、新しい街の新しいシンボルになっている。



都市化が進み、原っぱや小川など子どもにとって魅力的な屋外空間が減少した現代、公園は子どもが自然を身近に感じ、いろいろな体験ができる貴重な野外活動空間です。また、多様な人々が集うので他者とのコミュニケーションが生まれ、集団でのあそびを通して社会のルールや役割意識を学ぶ場でもあります。

しかし、必要だからとただ造っても、人も集まらず子どもたちも遊ばないような公園では意味がありません。公共性や地域性が特に重視される公園づくりには、使い手の視点が不可欠です。私たちは綿密なヒアリングや現地の自然環境調査を行い、最適なあそびを提供できる遊具と環境を提案し、地域にとって「かけがえのないプレイスケープ」づくりを実践しています。

公園はまた、子どもが自らあそびを創出できる場であることが大切です。「洲原公園」は地元の小学生が選んだコンパン遊具を、「豊洲3丁目公園」「柿田公園」などではティーンエイジャーのための遊具を導入し、市民が憩える公園へと生まれ変わりました。

003-006



005 Parks

柿田公園

クライアント：愛知県安城市
所在地：愛知県安城市
公園オープン日：1998年4月
面積：3.6ha

市街地の人口集中地区にある地区公園。市内の公園では、高学年児童がトイレの屋根などに登る危険行為が目立ったので調査すると、多くの公園で大部分の遊具が幼児向けだと判明。年齢に応じた身体活動に配慮した遊具の必要性から、コンパン遊具の中で対象年齢6歳以上のギャラクシー(右下)などを導入、高学年児童も含む幅広い年齢層のあそびの欲求に応えられる公園になりました。



誕生レポート 市民が選んだ公園、「洲原公園」

洲原公園は16haという広大な洲原池を中心に、周辺の自然環境を生かしてテニスコートやデイキャンプ場、温水プールなどを整備した総合公園です。その一角の緑豊かな広場の中に2005年春、斬新なデザインと高い運動量で評判の、コンパンのギャラクシーシリーズの遊具が仲間入りしました。海外では人気のシリーズですが、日本での採用実績はまだ少ない遊具です。

このギャラクシーを選んだのは子どもたち。遊具の入れ替えに際し、市が設定したコンセプトにそって各社が提案した遊具の中から、公園の中心ユーザーである小学生を対象に、「遊んでみたい」と思う遊具を選ぶアンケート調査を実施。その結果を元に、行政が総合的に判断して採用が決まりました。

ギャラクシーの魅力は、クールな外見に加え、メカニカルで多機能なデザイン。あそび方が一目瞭然なブランコやすべり台といった従来型遊具とは一線を画した、

一見「手ごわそう」なイメージが子どもたちの好奇心やチャレンジ精神をかきたてたのか、あるいは子どもたち自身がリスクをとることを本能的に選りよったのかもしれません。(リスクは成長に不可欠な経験すべき危険。ハザード=防ぐべき危険とは区別される)。自分たちで選んだ遊具のある公園は今、子どもたちの歓声が絶えない広場になっています。

よい公園とは、地域の人たちに愛着をもってよく使われる公園です。「こんな公園がほしい」と住民自らが理想のイメージを持ち、計画と建設段階から公園づくりに関わることにより愛着も湧き、公共空間を利用する権利と管理する責任感をも併せ持った市民意識を育むことにもつながるはず。洲原公園は行政が利用者主体の公園づくりをしようと試み、実現させた画期的な一例として注目されています。



006 Parks

新生公園

クライアント：北海道札幌市
所在地：北海道札幌市
竣工：1992年
面積：6,968㎡

1957年完成の歴史ある公園。もともと駅や観光地に近い地区だが、近年、周辺地域の住宅増による環境変化に合わせ、92年に全面改装。樹木中心の自然公園にコンパンの遊具を導入し、子ども広場を充実させた。特に砂場の中心に設置した「キャッスル」(左)は、「すべり台で思いきり遊べる」と子どもたちに大人気、母親たちからも「小さな子ども安心して利用できる」と好評。